

2019（令和元）年度病院構造改革推進方策実施状況の 自己点検・評価の結果について

病院構造改革を着実に推進するため、新公立病院改革ガイドラインに基づき、第4次病院構造改革推進方策の単年度の実施計画を定め、その実施状況について、毎年度、点検及び評価を行うこととしている。

2019（令和元）年度の実施状況についての自己点検及び評価の結果は下記のとおりである。

記

1 2019（令和元）年度の実施状況の自己点検・評価結果について

(1) 概要

① 目標

8割以上が「(概ね) 計画どおり実施」であった。

区分	○ (概ね) 計画どおり実施	△計画をやや下回った	▲計画を下回った	合計
目標数	24(85.7%)	3(10.7%)	1(3.6%)	28

② 取組項目

8割以上が「計画を上回る実施」又は「(概ね) 計画どおり実施」であった。

区分	◎計画を上回る実施	○ (概ね) 計画どおり実施	△計画をやや下回った	▲計画を下回った	合計
項目数	56(11.0%)	382(75.2%)	45(8.9%)	25(4.9%)	508
項目数	438(86.2%)		70(13.8%)		

評価の考え方

〔目標〕

評 価	考 え 方
○ (概ね) 計画どおり実施	・ 計画どおりに取組みを実施した項目 (取組項目の達成が8割以上)
△計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (取組項目の達成が6割以上8割未満)
▲計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (取組項目の達成が6割未満)

〔取組項目〕

評 価	考 え 方
◎計画を上回る実施	・ 計画以上の取組みを実施 (計画を2割以上上回って実施)
○ (概ね) 計画どおり実施	・ 計画どおりに取組みを実施した項目 (計画に比べ8割以上1.2倍未満の実施)
△計画をやや下回った	・ 計画した取組みが一部遅滞、一部未実施の項目 (計画に比べ6割以上8割未満の実施)
▲計画を下回った	・ 計画した取組みが未実施の項目 (計画に比べ6割未満の実施)

(2) 一 覧

評価結果一覧

資料2 頁	No.	目 標	実施 状況	取組項目					
				全項目数	◎	○	△	▲	○以上の 割合
p11～	1	がん医療の充実	○	71	16	43	10	2	83.1%
p6～	2	循環器疾患医療の充実	○	47	11	28	5	3	83.0%
p9～	3	糖尿病医療の充実	○	12	3	9	0	0	100.0%
p10～	4	精神医療の充実	△	22	4	11	5	2	68.2%
p13～	5	救急・災害医療の充実	△	37	1	28	6	2	78.4%
p15～	6	小児・周産期医療の充実	○	21	0	18	3	0	85.7%
p17～	7	リハビリテーション医療の充実	○	23	3	19	0	1	95.7%
p19～	8	その他の政策医療の充実	○	23	2	18	2	1	87.0%
p22	9	統合再編・建替整備	○	8	0	8	0	0	100.0%
p23	10	診療機能の効率化	○	5	0	5	0	0	100.0%
p24～	11	研究機能の充実	△	22	3	11	3	5	63.6%
p26～	12	地域医療連携の推進	○	59	9	39	7	4	81.4%
p30～	13	医療安全対策等の推進	○	10	0	9	1	0	90.0%
p32～	14	患者サービスの向上	○	21	2	19	0	0	100.0%
p34	15	医療の信頼性の向上	○	5	0	5	0	0	100.0%
p35～	16	県民等への情報発信の推進	○	35	1	29	2	3	85.7%
p37～	17	経営目標の設定と持続的な経営の取組	▲	7	0	6	1	0	85.7%
p40～	18	患者の受入れ促進等	○	13	0	13	0	0	100.0%
p42～	19	診療機能に見合う収益の確保等	○	10	0	9	0	1	90.0%
p44～	20	その他の収益の確保	○	8	0	8	0	0	100.0%
p47～	21	費用の抑制	○	15	1	14	0	0	100.0%
p49～	22	効果的・効率的な組織・人員体制の整備	○	2	0	2	0	0	100.0%
p50～	23	医師確保対策の推進	○	11	0	11	0	0	100.0%
p52	24	看護師確保対策の推進	○	6	0	6	0	0	100.0%
p53	25	専門人材の充実・確保と人材育成の取組	○	10	0	9	0	1	90.0%
p54	26	働きやすい職場づくり	○	3	0	3	0	0	100.0%
p55	27	経営形態の検討	○	1	0	1	0	0	100.0%
p56	28	安定的な地域医療の提供	○	1	0	1	0	0	100.0%
合 計			○:24 △:3 ▲:1	508	56	382	45	25	86.2%
					11.0%	75.2%	8.9%	4.9%	

※ No. 17「経営目標の設定と持続的な経営の取組」は、取組項目の達成状況は85.7%であるが、目標である経常黒字を達成できなかったため、実施状況の評価は▲とした

2 取組項目のうち計画を上回る実施となったもの【主なもの】

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由
I より良質な医療の提供					
項目1 診療機能の高度化					
(1) がん医療					
p1	5大がんの手術総件数	加古川	351件 → 446件	◎	消化器系(胃・大腸・肝臓)の紹介患者の増
p2	外来化学療法件数	柏原 (丹波)	800件 → 1,326件	◎	外来で治療可能な点滴治療法の増加等
		尼崎	9,000件 → 10,910件	◎	入院から外来への移行を推進
p3	緩和ケア病棟(病床)延入院患者数	柏原 (丹波)	5,000人 → 7,415人	◎	紹介件数の増
	がんゲノム外来患者数	がん	40人 → 159人	◎	R1.7から保険適用となったため
p4	ダヴィンチ(内視鏡下手術用支援機器)による手術件数	西宮	25件 → 38件	◎	治療部位の拡充(腎臓)等
p5	地域連携パスの運用件数	尼崎	55件 → 83件	◎	肺がん・乳がんの連携運用の増
		西宮	30件 → 66件	◎	乳がんの連携運用の増
		加古川	3件 → 18件	◎	
(2) 循環器疾患医療					
p6	開心術の件数	淡路	40件 → 112件	◎	学会等での手術症例発表による紹介患者の増

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由
p7	開頭術の件数	淡路	35件 → 45件	◎	対象患者の増（主に脳腫瘍、クリッピング術患者）
	脳血管内手術の件数		25件 → 40件	◎	血栓回収治療の増
p8	経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVI）の件数	尼崎	40件 → 70件	◎	待機患者を積極的に治療
（3）糖尿病医療					
p9	糖尿病教育入院の実患者数	加古川	123人 → 152人	◎	生活習慣病センターにおける対象患者の増
（4）精神医療					
p11	障害児リハビリテーションの実施	こころ	2,294件 → 2,873件	◎	対象患者の増
（5）救急・災害医療					
p13	救急車搬送患者数	加古川	2,014人 → 2,595人	◎	救急車の積極的応需による増
（7）リハビリテーション医療					
p17	ロボットリハビリテーションの臨床応用の推進（脊髄損傷、脳卒中等）（実施件数）	リハ中	4件 → 8件	◎	ロボットリハビリテーションの治験依頼の増
	回復期リハビリテーション病棟入院料1の施設基準の維持（日常生活機能評価10点以上）		33.0%以上 → 49.0%	◎	回復期リハビリテーション病棟運用検討会議を毎月開催することにより、分析・検討と情報共有を委員会で行い、意識向上を図った
（8）その他の政策医療					
p20	透析の件数	淡路	2,233件 → 2,716件	◎	対象患者の増（透析を受けていた交通事故患者の増）

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由
項目4	研究機能の充実				
p24	受託研究の件数	姫路	39件 → 51件	◎	積極的な研究の実施
p25	治験の件数	こども	13件 → 19件	◎	実施中の治験の派生・類似案件及びがん関連の増
Ⅱ 安心できる県立病院の実現					
項目1	地域医療連携の推進				
p27	医療機器の共同利用件数	加古川	494件 → 621件	◎	地域の医療機関への広報に努めた結果、MRI、CT、胃カメラ等の紹介患者の増
p28	病棟看護師と地域医療連携室等の連携による退院調整件数	柏原 (丹波)	1,700件 → 2,431件	◎	退院調整看護師と医療ソーシャルワーカーの配置による体制強化
p29	訪問看護師との看看連携会議等の開催	こども	35回 → 42回	◎	訪問看護の利用者の増
項目3	患者サービスの向上				
p32	入院前検査センター(入院及び検査説明件数)	加古川	1,380件 → 2,956件	◎	患者サービスの向上のため、対象パス以外でも積極的に入院及び検査説明を実施
		淡路	5,057件 → 6,421件	◎	パス対象の疾患を増加(白内障手術等)
Ⅲ 持続可能な経営の確保					
項目3	費用の抑制				
p48	県立病院における後発医薬品数量シェア達成計画について、国目標(2015年央に70%以上、2020年9月までに80%以上)を前倒しで実施	—	2020年9月までに 80%以上 → 87.9%	◎	積極的に切り替えを進めてきた結果、R2年度末目標である87.9%をR1年度末に達成済み

3 取組項目のうち計画を下回ったもの【主なもの】

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由
I より良質な医療の提供					
項目1 診療機能の高度化					
(1) がん医療					
p3	緩和ケア研修会の開催（出席者数）	がん	26人 → 0人	▲	明石地域の医師等からの受講希望が減っている中で、加古川医療センターで実施する緩和ケア研修に協力していくこととしたため、R1は未開催
p4	陽子線治療実患者数	神戸 陽子	成人 176人 → 134人 小児 84人 → 60人	△ △	近畿地方（主に京都府周辺）の患者が見込より増えなかった（H31.4 京都府立医科大学にて陽子線治療開始）
p5	リニアック新規患者数	尼崎	690人 → 541人	△	治療技術の向上により、より少ない照射回数での治療が実現できたこと及び患者の負担軽減の一環として、照射回数を減らして運用したため減
		こども	30人 → 19人	△	陽子線治療を選択する患者数の増に伴う対象患者の減
(2) 循環器疾患医療					
p7	脳血管内手術の件数	尼崎	65件 → 41件	△	対象患者は増加したが、開頭術の件数が増加したこともあり目標には到達せず
		西宮	13件 → 8件	△	医療体制が充実している他病院で地域における集約化を図っていることによる対象患者の減
p8	急性期リハの件数（脳血管疾患）	姫路	23,570件 → 12,215件	▲	医師（脳神経内科）の退職等に伴う実績減

資料2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由
(4) 精神医療					
p10	新規入院患者数	淡路	165人 → 100人	△	訪問看護ステーションの充実などにより、外来通院で状態を維持できる環境が整ったことにより減
	救急医療センター入院患者数	こころ	485人 → 338人	△	救急医療センターにおける入院患者の在院日数が長期化しているため、空き病床が少なく、救急入院を断る場合があるため減
(5) 救急・災害医療					
p14	ドクターカー出動件数	淡路	80件 → 30件	▲	消防の出動要請基準の見直し(病院の勤務態勢が手薄となる休日・夜間における要請の厳格化)による減
	広域災害訓練等の開催・参加回数	西宮	8回 → 5回	△	新型コロナウイルスの影響による訓練の中止
		こども	1回 → 0回	▲	災害派遣医療チームを設置していないこともあり、訓練に参加することができなかった
(6) 小児・周産期医療					
p16	母胎搬送受入数	尼崎	120人 → 93人	△	R2より複数の近隣病院にて分娩を中止・休止するため、院内の医療安全を考慮して分娩の受入制限を発表したが、受入制限をしていない母胎搬送にも影響した
(7) リハビリテーション医療					
p17	脊椎内視鏡手術件数	リハ中	10件 → 3件	▲	対象患者の減

資料 2 頁	取組項目	病院名	計画 → 実施	評価	理由
(8) その他の政策医療					
p20	腎臓移植の実施件数	西宮	20件 → 13件	△	新型コロナウイルスの影響により移植手術を停止していた期間があった(令和2年2月中旬～3月)
p21	骨髄移植の実施件数	がん	11件 → 6件	▲	近隣病院で骨髄移植ができるようになった等の理由による対象患者の減
項目 4 研究機能の充実					
p24	受託研究の件数	淡路	16件 → 2件	▲	依頼件数の減
p25	治験の件数	淡路	8件 → 2件	▲	依頼件数の減
		こころ	2件 → 0件	▲	依頼件数の減
II 安心できる県立病院の実現					
項目 5 県民等への情報発信の推進					
p36	講演会の開催等	がん	4回 → 2回	▲	新型コロナウイルスの影響により開催を一部中止
		姫路	1回 → 0回	▲	新型コロナウイルスの影響により開催を中止
IV 安定した医療提供体制の確立					
項目 4 専門的人材の充実・確保と人材育成の取組					
p53	兵庫県立大学大学院経営研究科医療マネジメントコース(MBA)受講支援	—	2名/年 → 0名/年	▲	職員への働きかけ不足